

むささび

第40号

令和2年6月25日発行

JForest 北信州森林組合

〒383-0061 中野市大字壁田938-1

TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350

URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

E-mail musasabi@jforest-kitashinshu.or.jp



中野市の北信濃ふるさとの森文化公園に設置した地域材のウッドデッキ 中野市街地を一望できます。



組合ホームページもあります。ぜひ、ご覧ください！
<http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>
スマートフォン対応となっています。

主な内容

- 新旧組合長就任退任あいさつ…………… 2
- 第19回通常総代会開催…………… 3
- 令和元年度事業・決算関係…………… 3～5
- 令和2年度事業計画…………… 5
- 新役員紹介…………… 6
- 伐木造材作業特別教育補講…………… 6
- 刈払機取扱作業者安全教育…………… 6
- 山地防災ヘルパーについて…………… 7
- 地域材利用製品について…………… 8
- 令和2年度人事異動…………… 8

◇ 新組合長就任あいさつ

北信州森林組合代表理事組合長 清水

侃つよし

このたびの役員改選により、北信州森林組合の代表理事組合長の

重責を担わせていただくこととなりました。責任の重大さに身が引き締まる思いであります。

副組合長には、経験豊富な竹内義明氏が選任されました。役員一同、全職員との連携と協力のもと、全力で取り組む決意であります。

森林は、将来にわたって私たちの暮らしに欠かせない大切な財産です。今、森林税や森林環境税等、税制面においても森林を活かす動きが加速してきていることは、大変ありがたいことです。

また、昨年は、経営管理がされていない森林について、市町村が仲介役となり、森林所有者と担い手をつなぐ新たな管理システムがスタートしました。森林管理の適正化と林業経営の効率化を目指すものであります。

森林環境譲与税の市町村への譲与も始まり、管内市町村では、新たな管理制度への取り組みが始まったばかりですが、

組合員の皆様にとってより良いものになるよう、市町村のこの取り組みには、森林組合として全面的に協力していく所存であります。

また、当組合が全国に先駆けて進めております航空レーザー計測データ等、ICT（情報通信技術）を活かした、境界明確化、施業集約化による森林整備事業を進め、より収益性の向上を意識した取り組みを進めたいと考えています。高性能林業機械の活用や技術者の育成においても、安全と効率性に重点を置き、事業を進めてまいります。

木材販売部門につきましては、国内はもとより、直江津港から中国への輸出入においても、新型コロナウイルス感染症拡大による経済の後退、需要の大幅な低下が非常に気がかりなところであり、一日も早い新型コロナウイルスの終息を願いながら、販路の確保に力を入れていきたいと考えています。

最後に、組合の更なる健全経営を目指し、力を尽くしてまいりますので、組合員の皆様には、今後ともご指導、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

令和二年五月

◇ 前組合長退任あいさつ

前組合長 中山 稿一



今総代会を以つて、任期満了にともない代表理事組合長を退任することとなりました。

平成17年に理事に就任し、現在の本所建設では、建設委員長として奔走したことが印象に残ります。

また、平成26年からは組合長として、多くの皆さんからご指導ご鞭撻をいただきながら、大過なく今日を迎えることができたことに、心より感謝申し上げます。

振り返れば、平成17年から境界明確化事業を本格的に導入したことが、後に施業計画や森林経営計画等のおおいに貢献しています。これは組合員の皆様の所有林の間伐を進めるために大変役立っており、今の組合経営の基盤になっております。

県下の森林組合もスマート林業の時代を迎えておりますが、精密林業の先駆けとして、リーダー的存在であると自負しております。

また高性能林業機械も平成26年から積極的に導入して、作業の安全性向上と効率化にも取り組んでまいりました。

一方で経営の合理化も進めてきました。「ねんりん」は野沢温泉村に経営移管をお願いし、さらに各支所廃止と本所への統合、利用事業室の充実なども進め、役員定数の削減等にも取り組んでまいりました。

今後は長野県森林税、国の森林環境譲与税等を活用して、益々の条件整備を図り、森林組合の一層の発展につながりますようご祈念申し上げます。新型コロナウイルス感染症が拡大し、異常事態での総代会となりましたが、今後の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。退任の挨拶といたします。

令和二年四月

第19回通常総代会を開催しました。

今回は中野市アップルシティなかので開催

新型コロナウイルス 感染防止対応で開催

令和2年4月25日(土)に中野市のアップルシティなかのにおいて第19回通常総代会を開催しました。

総代総数199名のうち本人出席69名、書面出席109名、合計178名の出席で、総代会議長に中野地区選出総代の小林俊幸さんを選出して議事が行われ、上程された十二議案全て原案どおり決定されました。

今回は、直前に山ノ内町で新型コロナウイルス感染者が発生したため、感染防止対応による開催となりました。役員選任では、定款の規定により総代総数の五分の一以上の総代が、本人出席して議決するとされており、議決できるか心配でしたが、多くの出席をいただきまして、ありがとうございました。

また、事前にご案内しておりました来賓の皆様には、急遽出席をお断りし、綱領唱和もせず、時間短縮のために議案決議のみを行うこととしました。

そのため本人出席いただいた皆さんには、従来の挙手による議決ではなく、第一号議案から第十一号議案までを議決書という形式で賛否を記入して回収集計することとし、第十二号議案の役員選任を別途投票としました。

なお、本来であれば組合員の表彰を総代会において行っておりましたが、今回は後日表彰された方々に表彰状と金一封をお届けしました。

損益計算書

(単位 千円)

| | | |
|----------|---------|---------|
| 事業総損益 | | |
| 収益 | 310,460 | |
| 費用 | 233,619 | |
| 事業総利益 | | 76,841 |
| 事業損益 | | |
| 人件費 | 87,051 | |
| 旅費 | 508 | |
| 事業業務費 | 2,284 | |
| 諸税負担 | 5,761 | |
| 施設費 | 3,195 | |
| 雑費 | 24,605 | |
| 管理費 | 693 | |
| 事業管理費計 | | 124,097 |
| 事業利益 | -47,256 | |
| 事業外損益 | 1,532 | |
| 経常利益 | -45,724 | |
| 特別損益 | -488 | |
| 税引前当期損失 | -46,212 | |
| 法人税・住民税 | 703 | |
| 当期損失 | -46,915 | |
| 前期繰越剰余金 | 583 | |
| 当期末処理損失金 | -46,332 | |

※千円以下については四捨五入ですが、合計を合わせるために四捨、切上しております。

※議案ごとの議決状況は下記のとおりです。

| 議案 | 賛成数 |
|--|-----|
| 第1号議案 令和元年度事業報告・貸借対照表・損益計算書・損失処理表・注記表及び附属明細書の承認について | 175 |
| 第2号議案 令和2年度事業計画について | 175 |
| 第3号議案 令和2年度賦課金の額及び納期の決定について | 175 |
| 第4号議案 令和2年度役員報酬の決定について | 175 |
| 第5号議案 令和2年度余裕金の預け入先の決定について | 174 |
| 第6号議案 令和2年度借入金の最高限度額決定について | 175 |
| 第7号議案 一組合員及び組合員以外の者に対する貸付金の最高限度額決定について | 175 |
| 第8号議案 一組合員の負担する債務に対する債務保証の最高限度及び本年度内における債務保証の最高限度額決定について | 174 |
| 第9号議案 定款の一部変更について | 175 |
| 第10号議案 組合員の除名について | 175 |
| 第11号議案 役員退任慰労金の支給について | 173 |
| 第12号議案 役員選任について (総代の総数の5分の1以上が自ら出席し決議する) | 66 |
| 附帯決議 | 147 |

組合員の表彰

令和元年度受託林産事業素材生産量第1位

団体の部

野沢温泉村 虫生区 様 出材量 893m³

個人の部

山ノ内町 堀米長晴 様 出材量 480m³

役員選任規程抜粋 (議決) 第3条

- ③ 正組合員は、定款第51条又は第51条の2の規定にかかわらず、前項の規定による役員を選任については、書面又は代理人をもって議決権を行うことができない。
- ④ 第1項の議決は、定款第45条第1項の規定にかかわらず、総代の総数の5分の1以上が自ら出席しなければ行うことができない。

貸借対照表

令和2年2月29日現在 (単位 千円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 | 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|--------|---------|-----------|---------|-------------|---------|--------------|---------|
| 資産の部 | | | | 負債の部 | | 純資産の部 | |
| 流動資産 | | | | 流動負債 | | 出資金 | |
| 現金 | 588 | 建物付属設備 | 140 | 受託販売預り金 | 162,463 | 払込済出資金 | 91,657 |
| 預金 | 343,738 | 一括償却資産 | 0 | 買掛金 | 196 | | |
| 売掛金 | 4,613 | 土地 | 34,631 | 未払金 | 32,525 | 資本剰余金 | |
| 未収金 | 184,656 | 森林 | 0 | 未払法人税等 | 703 | 資本準備金 | 723 |
| 短期貸付金 | 2,000 | 有形固定資産合計 | 78,911 | 短期借入金 | 2,000 | 資本剰余金合計 | 723 |
| 立替金 | 181,724 | | | 前受金 | 1,287 | | |
| 仮払金 | 5,544 | 無形固定資産 | | 前受収益 | 123 | 利益剰余金 | |
| 前渡金 | 0 | 水利権 | 181 | 貸倒引当金 | 0 | 法定準備金 | 183,599 |
| 貸倒引当金 | △1,230 | ソフトウェア | 6,739 | 預り金 | 94,984 | 任意積立金 | |
| 有価証券 | 0 | 無形固定資産合計 | 6,920 | 未払費用 | 0 | (1) 損失補填積立金 | 259,805 |
| たな卸資産 | 3,191 | | | | | (2) 除雪車購入積立金 | 10,000 |
| その他 | 711 | 外部出資その他資産 | | 流動負債合計 | 294,281 | 当期末処理損失金 | |
| | | 系統出資金 | 10,250 | | | 当期損失金 | △46,915 |
| | | 系統外出資金 | 1,120 | 固定負債 | | 前期繰越剰余金 | 583 |
| | | 差入保証金 | 0 | 農林漁業資金借入金 | 0 | | |
| 流動資産合計 | 725,535 | 預託金 | 274 | 退職給付引当金 | 27,777 | 利益剰余金合計 | 407,072 |
| 固定資産 | | 外部出資合計 | 11,644 | 役員退任慰労給付引当金 | 1,500 | | |
| 有形固定資産 | | | | 固定負債合計 | 29,277 | 純資産合計 | 499,452 |
| 建物 | 29,976 | | | 負債合計 | 323,558 | | |
| 構築物 | 10,791 | 固定資産合計 | 97,475 | | | 負債・純資産合計 | 823,010 |
| 機械装置 | 3,373 | | | | | | |
| 車輛運搬具 | 0 | | | | | | |
| 工器具備品 | 0 | 資産合計 | 823,010 | | | | |

※千円単位で記載するため端数調整しています。

台風・異常寡雪により大損失

当期損失額4,621万円となる

令和元年度は、10月の台風19号により管内においても甚大な被害が発生しました。当組合では、施設等の直接被害はありませんでしたが、管内東側山麓での降雨被害が多くあり、林道被害により、造林事業で4箇所が事業中止となり、林産事業でも1箇所が中止となりました。

山ノ内町では、総雨量300mm以上を記録し林道等に多くの被害を出し、夜間瀬川周辺地域には避難勧告が出

され、夜間瀬川の増水による被害が危惧されました。ところが夜間瀬川の水位は、星川橋では1.3m程度であり、高社大橋にあつては堤防法尻に水が届く程度で、危惧されたような増水は発生しませんでした。

昭和33年の台風21号では橋の流失や堤防決壊が起こったり、昭和61年の台風15号では総雨量200mm以上を記録し、堤防が中央付近まで決られたり、長野電鉄木島線鉄橋が傾き長期にわ

部門別損益

令和2年2月29日現在 (単位 千円)

| 部門 | 金額 | 備考 |
|--------|---------|----------------------------|
| 指導部門 | 4,450 | 親課金、実費収入 |
| 販売部門 | 29,149 | 販売品・林産品売上、手数料 他 |
| 森林整備部門 | 94,251 | 森林整備収入、森林請負収入、治山工事収入 他 |
| 利用 | 169,256 | 調査収入、利用料、利用事業収入、受託利用事業収入 他 |
| 福利厚生 | 1,360 | 家賃収入、共済保険手数料 |
| 購買 | 11,989 | 事業物資売上、生活物資売上 |
| 金融 | 4 | 事業資金貸付利息、林業改善資金取扱手数料 |
| 合計 | 310,459 | |

| 部門 | 金額 | 備考 |
|--------|---------|-----------------------------|
| 指導部門 | 5,284 | 総代会経費、広報紙発行費 他 |
| 販売部門 | 17,612 | 販売品・林産品原価 他 |
| 森林整備部門 | 66,406 | 森林整備費、森林請負費、治山工事費 他 |
| 利用 | 134,232 | 調査費、利用施設維持費、利用事業費、受託利用事業費 他 |
| 福利厚生 | 478 | 施設管理費 |
| 購買 | 9,605 | 事業物資売上原価、生活物資売上原価 |
| 金融 | 2 | 事業資金借入利息 |
| 合計 | 233,619 | |

| | |
|-----------|-----------|
| 受託販売取扱高 | 1,572千円 |
| 受託林産取扱高 | 119,234千円 |
| 受託森林整備取扱高 | 119,084千円 |

たり不通となりました。

今回も300mm以上の総雨量ということで、同様の災害が危惧されていたわけですが、増水は発生しませんでした。確かな理由はわかりませんが、夜間瀬川上流部の山ノ内町では二十年前にわたって搬出間伐を中心とした森林整備を続けてきておりますので、健全な森林づくりを行ってきたことが夜間瀬川の増水を防ぐ一因となったのではと考えております。

この台風災害による損失に加えて、冬季事業においても記録的な寡雪となり、除雪事業は大幅な減収益となり令和元年度決算は、収益では指導で445万円(前年対比82%)、販売で2915万円(前年対比248%)、森林整備で9425万円(前年対比126%)、購買で1199万円(前年対比106%)と増収でしたが、利用では除雪事業が大きく減収益となり、森林整備の請負事業が増加したこと

から、受託森林整備からの利用料が大きい不通となりました。今回も300mm以上の総雨量ということで、同様の災害が危惧されていたわけですが、増水は発生しませんでした。確かな理由はわかりませんが、夜間瀬川上流部の山ノ内町では二十年前にわたって搬出間伐を中心とした森林整備を続けてきておりますので、健全な森林づくりを行ってきたことが夜間瀬川の増水を防ぐ一因となったのではと考えております。

令和元年度 損失処理案

(単位 千円)

| | |
|-------------|---------|
| I 当期末処理損失金 | -46,332 |
| II 法定準備金戻入 | 284 |
| III 損失金処理額 | -46,048 |
| 1. 任意積立金取崩額 | 46,048 |
| IV 次期繰越損失金 | 0 |

特別損益を加えた税引前当期損失は事業管理費は1億2410万円(前年対比102%)となり、4726万円の事業損失となり、事業外損益と特別損益を加えた税引前当期損失は

4621万円とたいへん大きな損失となつてしまいました。

災害等の影響もありましたが、生産性等の課題も多くありますので、課題解決に向けて更なる取り組みを進め健全経営となることを目指してまいりますので、関係機関のご指導と組合員の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和2年度事業計画

令和2年度は、北信州森林組合連動方針（5カ年計画）の最終年度となります。これまでの4年間で計画前の数値を大きく下回っており、最終年度となる本年も状況は厳しいものがありますが、目標に近づけるよう創意工夫をして改善を図ってまいります。

新たな森林管理制度が昨年から始まり、森林環境譲与税の市町村への譲与も始まり、当組合も長野県の「意欲と能力のある林業経営者」公募公表要領に基づき林業経営者に登録されました。

管内市町村での新たな森林管理制度への取り組みは始まったばかりですが、組合員にとってより良い制度となるよう、市町村の取り組みに協力してまいります。

また、森林組合が組合員や森林所有者と経営管理委託契約をしている森林については、適正な管理、森林経営が行われている森林という位置づけになりますので、経営管理委託森林を拡大するため施業集約化と境界明確化を進め、境界明確化データや航空レーザー計測データ等の活用などにより、効率的に取り組んでまいります。

木材販売については、地域の製材工場、系統を通じた大規模需要者への販売、そしてバイオマス燃料やオガ粉原料など様々な需要先への販売を進め、組合員へより多くの還元ができるよう有利販売に努めてまいります。

令和2年度の公的機関の利用については、国有林、長野県、中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、妙高市から発注される森林整備事業等に参加する予定です。また、長野県林業公社、国立研究開発法人森林研究・整備機構から委託される森林整備を実施する予定です。

令和2年度の損益計画では、収益で3億4351万円を見込み、事業利益で1億2290万円、事業利益で79万円、経常利益で149万円の見込みとなります。

組合員の山林の境界明確化など利益の見込めない事業を行っておりませんので、経営状況の厳しさは変わりませんが、創意工夫をして利益に結びつくよう取り組んでまいります。

令和2年度部門別損益計画

| 収 益 (単位 千円) | | | 費 用 (単位 千円) | | |
|-------------|---------|----------------------------|-------------|---------|-----------------------------|
| 部 門 | 金 額 | 備 考 | 部 門 | 金 額 | 備 考 |
| 指 導 部 門 | 4,300 | 賦課金、実費収入 他 | 指 導 部 門 | 4,900 | 総代会経費、広報発行費 他 |
| 販 売 部 門 | 18,575 | 林産立木売上 受託販売・林産手数料 他 | 販 売 部 門 | 7,900 | 木材購入費 林産立木購入費 他 |
| 森 林 整 備 | 100,500 | 森林整備収入、森林請負収入、治山工事収入 他 | 森 林 整 備 | 72,800 | 森林整備費、森林請負費、治山工事費 他 |
| 利 用 | 206,700 | 調査収入、利用料、利用事業収入、受託利用事業収入 他 | 利 用 | 125,200 | 調査費、利用施設維持費、利用事業費、受託利用事業費 他 |
| 福 利 厚 生 | 1,478 | 家賃収入、共済保険手数料 | 福 利 厚 生 | 300 | 研修施設維持費 |
| 福 利 厚 生 | 11,950 | 事業物資売上、生活物資売上 | 購 買 | 9,510 | 事業物資売上原価 生活物資売上原価 |
| 金 融 | 3 | 事業資金貸付利息 林業改善資金取扱手数料 | 金 融 | 1 | 事業資金借入利息 |
| 合 計 | 343,506 | | 合 計 | 220,611 | |

受託販売取扱高 1,500
 受託林産取扱高 130,000
 受託森林整備取扱高 100,000

令和2年度 損益計画

| | | (単位 千円) | |
|-------------------------------|-------------------------------|---------|---------|
| 事業 | 損 益 | 損 益 | 損 益 |
| 事業 | 総 損 益 | | |
| 収 入 | 343,506 | 業 務 利 益 | 122,895 |
| 費 用 | 220,611 | 事 業 利 益 | 785 |
| 事業 | 管 理 費 | 700 | 1,485 |
| 事業 | 外 損 益 | 500 | 1,985 |
| 特 別 | 損 益 | | 703 |
| 税 引 | 前 期 繰 越 当 期 未 処 分 利 益 税 金 余 金 | | 1,282 |
| 法 人 税 | 703 | | 0 |
| 当 期 繰 越 当 期 未 処 分 利 益 税 金 余 金 | 1,282 | | 1,282 |

総代が改選されました。
 任期は令和2年5月5日～5年5月までの3年間

平成29年4月に選出されました総代任期が令和2年5月10日までとなり、総代選挙規程により4月13日告示、4月21日に立候補締切、投票日を4月24日として総代選挙を行いました。

中野地区22名、飯山地区72名、山ノ内地区38名、木島平地区27名、野沢温泉地区19名、中野市豊田地区22名の定員に対して各地区とも同数の推薦立候補で無投票となり全員が当選になりました。

任期は令和2年5月11日から令和5年5月10日までの3年間となります。よろしくお願いたします。

新役員が選任されました。

4月25日の通常総代会で理事12名、監事2名が選任され、4月26日の理事会および監事会で代表理事組合長および代表監事ほか役職が決定されました。役員の内任は令和5年の通常総代会終了までです。

役職氏名は次のとおりです。

令和2年度改選 新役員

| | | |
|---------|--------------------------|---------|
| 代表理事組合長 | 清水 侃 <small>ソウケン</small> | (飯山市) |
| 副組合長理事 | 竹内 義明 | (中野市) |
| 代表監事 | 高坂亀美雄 | (中野市) |
| 総務委員長 | 平田 幸男 | (野沢温泉村) |
| 業務委員長 | 藤澤 敏孝 | (飯山市) |
| 総務副委員長 | 吉池 茂敏 | (山ノ内町) |
| 業務副委員長 | 丸山 隆久 | (中野市) |
| 総務委員 | 丸山 松良 | (中野市) |
| 総務委員 | 関 保典 | (飯山市) |
| 総務委員 | 瀧澤 俊實 | (木島平村) |
| 業務委員 | 小嶋 秀治 | (山ノ内町) |
| 業務委員 | 佐藤 次雄 | (山ノ内町) |
| 業務委員 | 森 和樹 | (木島平村) |
| 監事 | 西方 俊也 | (野沢温泉村) |



伐木造材作業特別教育補講を開催

：：安全衛生規則改正に伴い実施：：

平成31年2月12日に、伐木等作業に係る安全衛生規則の一部を改正する厚生労働省令が公布されました。これまで伐木造材作業等の特別教育を修了した者は、令和2年7月までに、伐木等の業務の特別教育補講を受けないと、8月から伐木等作業に就くことができなくなるということで、当組合の伐木造材作業等の特別教育修了者と、協力事業体の修了者を対象に、法令に従い補講を開催しました。

補講は1月14日、15日、16日、20日の4日間にわたり行いました。

4日間で総勢86名に対して、学科として「造材の方法 下肢の切創防止用保護衣等の着用」「安衛法、安衛令及び安衛則中の関係条項」を2時間、実技として「下肢の切創防止用保護衣等の着用」を30分の合計2時間30分を行いました。

当組合の安全衛生管理者で長野県指導林業士である田中参事が講師となり行いましたので、受講者は真剣に受講していました。

刈払機取扱作業安全教育を実施

コロナ禍で研修機関が閉鎖のため自前で実施

5月19日に、「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育について」及び別添「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育実施要領」に基づき安全衛生教育を実施しました。

新型コロナウイルス感染症防止対策により、各種研修機関での研修が相次いで中止となりましたので、事業者として新卒採用者への法令に基づく安全衛生教育を実施しました。



長野県北信地域振興局林務課からのお知らせ

山地災害に御注意ください！ ～6月30日まで山地防災キャンペーン期間です～

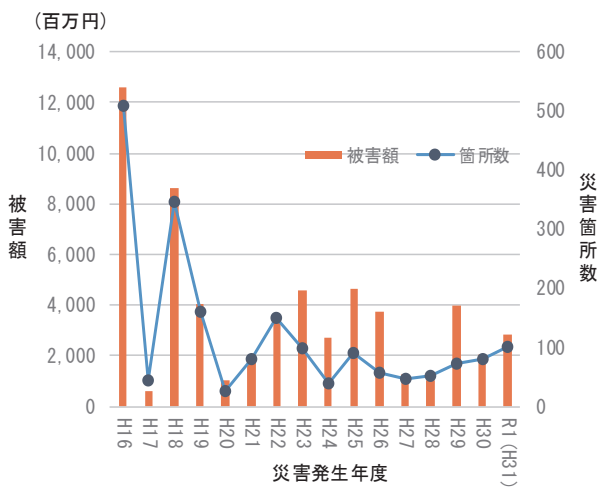


図1 長野県における近年の災害発生状況

●山地災害の発生状況について

梅雨期から台風が多く発生する夏から秋口までの時期を控え、これから1年の中でも多くの雨が降る時期を迎えます。

近年は、いわゆる「ゲリラ豪雨」に伴い、山腹崩壊・土石流・地すべり等の「山地災害」が多発しています。

本県では、平成16年の台風23号、平成18年の7月豪雨により山地災害に伴う甚大な被害が発生しており、この5年を見ると災害箇所数は緩やかに増加しています(図1)。

北信地域では、平成23年に栄村中条川で、平成29年に飯山市井出川で大規模な山腹崩壊と土石流が発生しています(写真1)。

記憶に新しい昨年度の台風19号の際は、大規模な山腹崩壊・土石流等は発生しなかつたものの、沢水の増水等により林道が大きな被害を受けました。

●山地防災ヘルパーについて

大規模な山地災害が発生した際、県では直ちに現地調査や情報収集を行い、速やかな復旧につながるよう努めているところですが、限られた人員で広い管内の調査を行うことが困難なケースもあります。

このため県では、森林・林業関係者や治山事業経験者など、山地災害に関する知識がある方を「山地防災ヘルパー」に認定し、災害発生時の情報収集への協力をお願いしています。

令和2年1月現在、県内で105名がヘルパーに認定されておりますが、ヘルパーの方々の高齢化が進む中で、活動を辞退する方が年々増加している現状にあります。

そこで、北信地域の山地・森林の状況に精通する北信州及び栄村の両森林組合に山地防災ヘルパーの活動への協力を打診したところ、快く御了解をいただき、このたび若手を中心とした6名を新たに山地防災ヘルパーに認定させていただきました(表1)。

これにより、特に山地災害発生時に情報収集が遅れがちな山奥の森林や林道の情報収集が迅速に進むことが期待されます。



写真1 飯山市井出川の山腹崩壊の状況

表1 北信地域で新たに認定された山地防災ヘルパーの皆様(敬称略)

| 氏名 | 所属 | 活動地域 |
|-------|---------|-------|
| 高柳 秀行 | 北信州森林組合 | 中野市 |
| 丸山 幸裕 | 北信州森林組合 | 飯山市 |
| 川久保 純 | 北信州森林組合 | 山ノ内町 |
| 宮崎 則明 | 北信州森林組合 | 木島平村 |
| 河野 透 | 北信州森林組合 | 野沢温泉村 |
| 森川 大 | 栄村森林組合 | 栄村 |

●山地災害の危険信号

森林組合の組合員の皆様におかれましては、豪雨の後に集落周辺の森林や御自身の所有森林が心配になり、状況確認に向かわれたことがある方もいらっしゃると思います。

豪雨直後は危険なため、できるだけ外出しないことが望ましいですが、山地災害発生前には次のような兆候が認められる場合があります。

- ① 川が濁り、木の枝などが混ざりはじめた
- ② 雨が降り続けているのに、河川の水位が下がった
- ③ 山の木が傾いたり、斜面に亀裂が走った
- ④ 山の斜面から石が転がり落ちてきた
- ⑤ 今まで枯れたことのない湧水が止まった
- ⑥ 湧水の量が急に増えた
- ⑦ 普段澄んでいる沢や井戸水が濁ってきた
- ⑧ 地鳴りの音が聞こえてきた

やむを得ず外出する場合は、この8つの危険信号に留意して行動をお願いします。

【本件に関するお問い合わせは下記まで】
北信地域振興局 林務課 治山林道係
電話：0269-23-0258

地域材を利用した施設ができました。

..... 地域材の活用をお考えの方は、ぜひ森林組合にご相談ください。



中野市ふれあいバス更科バス停

..... 当組合で屋根付きベンチを設置

中野市の更科区にあったバス停の待合所が、昨年の台風19号により吹き飛ばされてしまいました。

区から、学校に通う生徒等が利用しているため、早期の設置をしたいということで当組合に相談がありました。

イオン中野店前や中野市の間山区にあるバス待合所を紹介し、同様のものを設置させていただきました。

スギの間伐材を加工して、止め金具を除き、部材は木材だけで作っております。

これまで、屋根材の節からの漏水が指摘されておりました。

したが、今回は屋根材に無節材を使用し、雨漏れ防止をしています。

なお、千曲川下流域域林業活性化センターの、北信地域木づかい事業補助金が使われています。

北信濃ふるさとの森文化公園にウッドデッキを設置

..... 中野市街地の眺望が
すばらしい展望テラス



中野市の長峰団地に続く山稜にあります『北信濃ふるさとの森文化公園』から依頼がありまして、展望テラス用にスギの間伐材を加工してウッドデッキを製作し設置しました。また、間伐材のベンチも合わせて設置しました。

ウッドデッキを設置した場所は、市立博物館の南側で、文化公園から東側を望んで、中野市街地が一望できるようにつと、昨年夏に伐採を依頼され、当組合で伐採を行った場所です。すばらしい眺望ですので、ぜひ訪れてみてください。

3月31日付人事異動

定年退職

主幹 小林 和江

4月1日付人事異動 異動

総務課長代理

主幹 高橋 優

再雇用

総務課会計係

担当 小林 和江

新規採用

林産班

技能職員 木下 大和



本 所

〒383-0061

中野市大字壁田938番地1
TEL 0269-38-0371(代)
FAX 0269-23-5350

利用事業室

〒389-2255

飯山市大字静間383番地14
TEL 0269-62-8111
FAX 0269-67-0120

編集後記

今年も年3回の発行を計画しております。なるべく時間差がないように心がけております。皆様に森林組合のことを知っていただき、組合についてご理解いただき、事業等へご協力いただけるよう発信してまいりますので、よろしく願いいたします。

なお、地域の山林紹介は紙面の都合で次回に送りました。